

Tech Tip #109

樹脂回収のガイドライン-自動回収装置が無い場合

本章の基本的なガイドラインをお守りいただけましたら回収した樹脂にて高品質なフレキシソ樹脂版を製版することが出来ます。ただし、機材と弊社液状樹脂の回収方法や取扱いはその現場ごとに異なる場合があります。

回収

フォトポリマー(光重合性樹脂)は紫外光(UV)を避けなければいけません。日光やハロゲンランプの UV 光をフィルターで除去して下さい。同時に樹脂回収容器や樹脂が通るパイプは遮光して下さい。ドレインパンから回収した樹脂は製版中に光にあたっているため再使用には推奨できません。

フィルターでのろ過

フィルターでろ過することはジェル状になった樹脂、ゴミや他の混入物を取り除く為に必要です。フィルターは回収容器の入口に取り付けることが出来ます。また、目詰まりを防ぐために定期的に掃除して下さい。

このフィルター素材は荒め薄地の綿布か 200 から 300 μ メッシュの布を推奨します。50 メッシュスクリーンのアルミやステンレス素材の網も使用出来ます。ただし、真鍮素材は使用しないで下さい。

ミキシング/攪拌

回収した樹脂を均一に攪拌することは樹脂の感度のバラつきをなくします。回収された樹脂は新しい樹脂と特定の比率で混ぜて樹脂タンクに戻しましょう。

回収した樹脂を一日一度、頻繁に追加するほうが、日にちをおいて一度に多量に追加するよりも混ぜ合わせるのが簡単です。また、タンク内の樹脂はその量が十分多い状態で連続的に攪拌して下さい。

製品安全

製版材料を取り扱う前に MSDS を読んで理解して下さい。

以上

